

空間と感情の連合：メタファー一致効果の心的処理過程

佐々木，恭志郎

<https://doi.org/10.15017/1654631>

出版情報：九州大学，2015，博士（心理学），課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	佐々木 恭志郎		
論文名	空間と感情の連合ーメタファー一致効果の心的処理過程ー		
論文調査委員	主査	九州大学	職名 教授 氏名 三浦 佳世
	副査	九州大学	職名 教授 氏名 中村 知靖
	副査	九州大学	職名 准教授 氏名 橋彌 和秀
	副査	九州大学	職名 准教授 氏名 佐々木 玲仁

論文審査の結果の要旨

本論文は、上下の感覚運動表象と感情（空間-感情メタファー）がどのように結びついているかを、実証的研究に基づいて、明らかにしたものである。具体的には感情が上下方向の身体運動錯覚に与える影響および感情による上下の身体運動の変容と意識の関係について検討を行った。実験の結果、感情と上下の感覚運動表象は双方向的かつ非言語的に結びついていることが示された。また、感情による上下の感覚運動表象の活性化には意識的に処理された感情情報が必要であることが明らかになった。さらに、これらの知見を基に、空間-感情メタファーが行動に現れるまでの処理過程について議論した。その結果、以下のような処理過程が想定された。感情による身体運動体験の影響では、感情刺激入力された後、その意味情報に基づいて感情が認知され、上下の感覚運動表象が活性化する。一方、身体体験による感情処理の影響では、上下の感覚運動体験により自動的に感情表象が活性化する。その後、課題に応じて活性化された表象が利用され、行動が変容する。このように本研究は、外部入力から出力までの一連の処理過程を初めて提案したもので、価値ある研究だと言える。

よって、本論文は博士（心理学）の学位に値するものと認める。